

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, November, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○ 11月の状況 (佐藤)

☆ P/2010 V1 (Ikeya-Murakami) (写真 a)

11月4日6:48、東京都大田区の佐藤英貴氏から彗星課メーリングリスト(以下 oaa-comet ML という。)に「…NEOCP に ObjX1 なる天体が出ていますね。離角が小さいのでリモート観測所では残念ながら撮像不能な天体ですが、明朝に国内で観測できるとよいですね」という情報があった。

その日の10:56に発行されたIAUC 9175によると、11月2.831日UTに、池谷薫氏(静岡県周智郡森町、25-cm 反射、39倍、若干集光した拡散状、1'のコマあり)と3.801日UTに、村上茂樹氏(新潟県十日町市、46-cm 反射、78倍、4'のコマと p. a. 90° に2'の尾がある。およそ2'/時間、東方に移動している)は、眼視により彗星をそれぞれ独立して発見し、板垣公一氏(山形市鉄砲町、60-cm f/5.7 反射+フィルターなし CCD カメラ)が確認観測を行った。11月3.85日UTに、強い中央集光のある拡散状で尾はないとのことであった。

11月4日22:25、宮城県大崎市の遊佐徹氏から oaa-comet ML に「今しがた、米国メイヒルのリモートで、Comet 2010 V1 (= ObjX1) を観測しました。望遠鏡の競争率が激しく、薄明がひどくなってからの観測開始となってしまいました。全光度はもっと明るいと思います。…コマ視直径は1.2分角、核から位置角 PA285 度

の方向に、0.3分角のジェットのような吹き出しが確認できます」とのコメントと位置観測報告があった。

続いて、佐藤英貴氏から同じく「村上さん、新彗星発見おめでとうございます！欧州の観測者からは続々と追跡観測が寄せられていましたが、私も米国のリモート観測所を用いて追跡できました。3月のC/2010 F4は低すぎて駄目だったのですが、こちらは何とかいけました。彗星はバースト後の17P/Holmes や29P/SW1とよく似た姿をしています。核から330度の方向に30"程度の濃いジェットのような吹き出しがあり、淡く広がったコマは2'以上です。全光度は9.6等と大変明るいです…」とのコメントと位置観測報告があった。

5日5:57、筆者から oaa-comet ML に「村上さん、Ikeya-Murakami 彗星と名前がつけましたね。改めておめでとうございます。今朝、私もこの彗星を観測しました。8.2等と明るく、強い中央集光がありました。門田さんの観測を加え軌道を改良しました。楕円軌道も計算できます。はたして周期彗星となるのか楽しみです」とのコメントと放物線軌道と楕円軌道を報告し、短周期彗星である可能性を伝えた。

同日6:32、宮城県栗原市の高橋俊幸氏から同じく「村上さん 新彗星発見おめでとうございます！今朝方、雲が去来し、薄明ですっかり白くなった空のなか、なんとか捉えることがで

きました」とメンバーの村上氏への祝福と位置観測報告があった。

その後、oaa-comet ML に報告が相次いだ。

5日 6:47、千葉県船橋市の張替憲氏からは「村上さん、改めまして、おめでとうございます。九十九里海岸からも未明に捉えました。雲間からでしたが双眼鏡でも8等台で土星のすぐ近くに見えました。まこと彗星らしい姿でした」との祝福のコメントと画像報告があった。

同日 7:20、熊本県南小国町の宇都宮章吾氏が「村上さん、新彗星の発見おめでとうございます」との祝福のコメントと眼視観測報告があった。

同日 10:09、長野市の大島雄二氏から「C/2010 V1 の画像をブログにアップしました。新彗星発見のニュースでこちらも興奮しています。仕事を急ぎよ午前中休んで画像処理しています」とのコメントと位置観測報告があった。

同日 20:33、新潟県十日町市の村上茂樹氏から「たくさんのお祝いのお言葉、ありがとうございます。池谷さんとの発見となったことを大変光栄に思います。今朝、晴れたので観測しようと望遠鏡を出したら、4時過ぎから急に雨となりました。望遠鏡の撤収に苦労しました。そんなこともあって疲れがたまっているので、HPの更新もしばらくできません。マスコミ対応も大変ですが、こればかりは仕方ないです。明日の朝日新聞に記事が載るそうです」との祝意に対するお礼のコメントがあった。

11日 21:44、村岡健治彗星課幹事から「…遅くなりましたが、村上さん、おめでとうございます！やっている人は、ちゃんと検索していることがよくわかりました。さらなる吉報（単独発見）をお待ちしています。さて、軌道ですが、短周期と思われるのに、なかなか楕円軌道

が計算できませんでしたね。まだ、放物線でフィットできる軌道です。追跡もこの軌道で十分でしょう。まだまだ不安定ですが、短周期軌道を計算してみました。なんと4.43年周期の軌道が計算できます。アークが伸びるにつれ、周期はどのように変化するか楽しみですね！」とのコメントと放物線軌道および楕円軌道の報告があった。

同日 23:13、関勉会長から「村岡さんに続いて、私も遅ればせながら、村上さんの彗星発見をご祝辞申し上げます。リニア計画が発表されたとき、『もうアマチュアの活躍する舞台は無い』と、碌に戦わずして搜索界から消えていった人が居ましたが、『プロの掃天が氾濫しても、必ずチャンスはある』と唱えてきたことを村上さんが実証する形となって大変にうれしく、また力強く思っています。前のマックホルツの発見もそうでしたが、やはり熱心にやればチャンスにいつかは恵まれます。発見しようと思えば、その道一筋に生きることです。私なんかの何でも屋がいけない訳です…」とのコメントがあった。

13日 23:06、高橋俊幸氏から「C/2010 V1（池谷-村上彗星）は、17P（ホームズ）のようなエンベロープが拡がり、PA295度方向に7分角程の尾が伸びています。拡散したせいやや暗く見えますが、全光度として減光幅はさほど大きくないような気がします」とのコメントと位置観測報告があった。

18日 7:43、宇都宮章吾氏から「…池谷・村上彗星は暗くなり15cm双眼鏡では、16日、18日と向けてみましたが、11等より暗くて見えません。120mm（F3.5）レンズでの撮影では、15.85UTに11.5等ほどで写っていましたが、今朝、17.85UTでは、12.0等より明るい像は見

出せずかなり暗くなってきています」と、眼視では見えなくなったとの報告があった。

奈良県生駒市の永島和郎氏からの報告では、三重県松阪市の高見山東で、11月15.83日UT、20-cm 反射×42にて前後一日の範囲を捜したが10等より暗く見えなかったとのことであった。

その後、眼視観測報告は途絶えたが CCD の観測では11月末まで約12.5等と明るく捉えられていた。

○11月以降に発見・検出された彗星

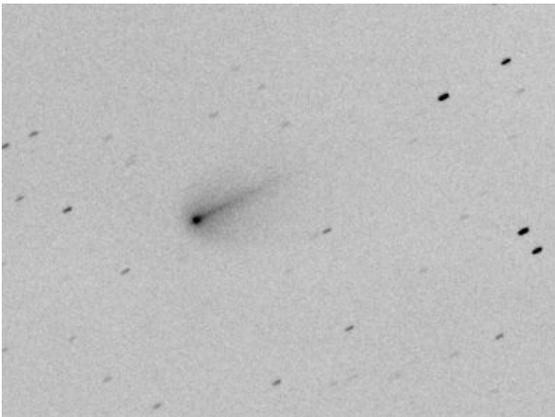
☆ C/2010 U3 (Boattini) 11月31.33日UT、A. Boattini は、Mt. Lemmon の1.5-m 反射望遠鏡で得た CCD 画像から適度に拡散した6"-7"のコマで3"-4"中央集光した19.4等の彗星を発見した。'NEOCP' ウェブページに掲載後、位置観測者たちによって彗星状として観測された (IAUC 9182, 2010 Nov. 5)。

☆ 246P/2004 F3 = 2010 V2 (NEAT) 11月2.00

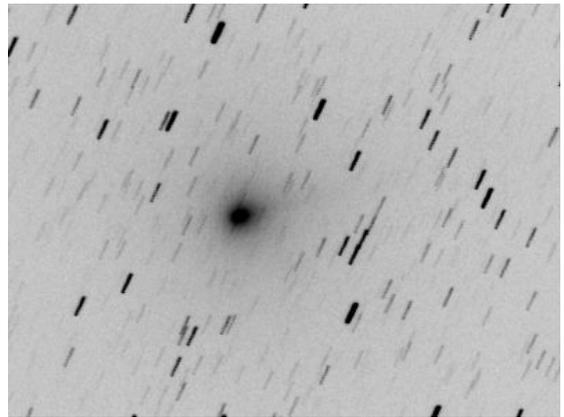
日~3.45日UT、いずれもロシアの E. S. Romas (Rostov-na-Donu)、A. O. Novichonok (Kondopoga) と D. N. Chestnov (Saransk) は、0.50-m f/8.3 Maksutov-Cassegrain で得た画像から20.5等のP/2004 F3を検出した。また G. Hug (Sandlot Observatory, カンザス州, 0.56-m 反射) も20.4等のこの彗星を検出した (IAUC 9176, 2010 Nov. 4)。

☆ C/2010 KW₇ (WISE) 5月16日に地球軌道衛星 WISE によって発見された小惑星状天体 2010 KW₇ が、10月18.5日UT、Steward 天文台の0.9-m 反射望遠鏡で得たイメージから彗星であることがわかった (IAUC 9187, 2010 Nov. 23)。

その他明るい彗星は、103P/Hartley (写真 b)、10P/Tempel, C/2009 P1 (Garradd) 等であった。



(写真 a) P/2010 V1 (Ikeya-Murakami) 2010, 11, 11
5h00.0m-10.0m (JST) exp. 60s×7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 103P/Hartley 2010, 11, 05
0h00.0m-10.0m (JST) exp. 60s×7 TOA130+CCD
三重県伊賀市上野 田中利彦氏

● 眼視等観測報告

C/2009 P1 (Garradd)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	6.40	11.5	1.0'	4	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	意外と明るい

C/2009 Y1 (Catalina)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	5.54	13.6	0.4'	6	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	集光が確り
	6.41	13.2	0.7	5	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	

C/2010 B1 (Cardinal)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	6.79	14.3	0.5'	5	-	-	-	-	257×40-cmL	吉田誠一	存在が分る
	9.72	14.5	0.8	6	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	120秒露出
	14.69	14.3	1.2	6	-	-	2/5	3/5	EOSX2*	張替憲	120秒露出

P/2010 V1 (Ikeya-Murakami) (写真 a)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	4.79	9.3	2.2'	7	-	-	4/5	3/5	EOSX3*	張替憲	120秒露出
	4.81	8.2	3.5	5	-	-	3/5	3/5	25×10-cmB	佐藤裕久	① ②
	4.85	8.5	2.5	4	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	5.82	9.3	2.5	7	-	-	4/5	3/5	EOSX2*	張替憲	60秒露出
	5.82	8.5	3.5	7	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一	集光が強い
	5.85	8.8	2	4	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	6.82	9.0	4.5	6	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一	
	7.84	9.6	2	4	-	-	1/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	9.81	9.9	2.3	7	2.0'	300°	3/5	3/5	EOSX2*	張替憲	45秒露出

10P/Tempel

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	5.55	11.9	2.1'	3	-	-	-	-	75×40-cmL	吉田誠一	まだ大きい
	6.43	11.4	2.2	3	-	-	-	-	144×40-cmL	吉田誠一	

103P/Hartley (写真 b)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	1.63	6.6	4'	5	-	-	-	4/5	10×7-cmB	上原貞治	④
	1.72	5.2	20	5	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	2.65	5.9	18	4/	-	-	3/5	3/5	10×7-cmB	佐藤裕久	⑤ ⑥
	3.76	5.8	20	4	-	-	-	3/5	10×7-cmB	上原貞治	⑦
	3.82	5.8	21	4	-	-	-	4/5	10×5-cmB	永島和郎	
	4.71	8.9	11.0	7	8.0'	285°	4/5	3/5	EOSX3*	張替憲	** ⑧
	4.77	5.6	20	5	-	-	4/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③

103P/Hartley

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Nov.	4.81	5.7	24'	5	-	-	4/5	5/5	10× 7-cmB	佐藤裕久	②
	4.81	6.0	16	4	-	-	-	4/5	10× 5-cmB	永島和郎	
	5.68	8.7	11.0	7	8.5'	287°	4/5	3/5	EOSX2*	張替憲	** ⑧
	5.74	6.9	5	3	-	-	-	3/5	40×20-cmL	上原貞治	⑨
	5.76	5.8	15	5	-	-	3/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	5.79	5.6	19	7	-	-	-	-	10× 7-cmR	吉田誠一	
	5.80	6.1	12	4	-	-	-	4/5	10× 5-cmB	永島和郎	
	6.76	5.9	19	6	-	-	-	-	10× 7-cmR	吉田誠一	
	7.81	6.3	15	4	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	9.72	9.6	11.0	7	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	*** ⑧
	14.69	9.8	10.0	7	-	-	2/5	3/5	EOSX2*	張替憲	**** ⑧
	14.78	6.8	15	5	-	-	2/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	15.77	7.0	12	4	-	-	5/5	3/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	15.79	6.3	10	5	-	-	-	4/5	10× 5-cmB	永島和郎	
	17.78	7.2	12	4	-	-	3/5	2/5	25×15-cmB	宇都宮章吾	③
	18.82	6.4	9	4/	-	-	-	4/5	10× 5-cmB	永島和郎	

- ① 強い中央集光 ② 観測場所: 二枚橋(西袋地区) ③ 16× 7-cmB 併用
 ④ 彗星の付近に雲が多く、コマの広がりか識別できない。中心部のみの測定。
 ⑤ 観測場所: 自宅 ⑥ p. a. 280° に尾の気配 ⑦ コマの広がりがよく見えた。
 ⑧ コマ中心部の光度 ⑨ 明るい核は見られないが、非対称形の中心部がある。

* 200-mm f/2.8 lens、** 150 秒露出、*** 120 秒露出、**** 60 秒露出